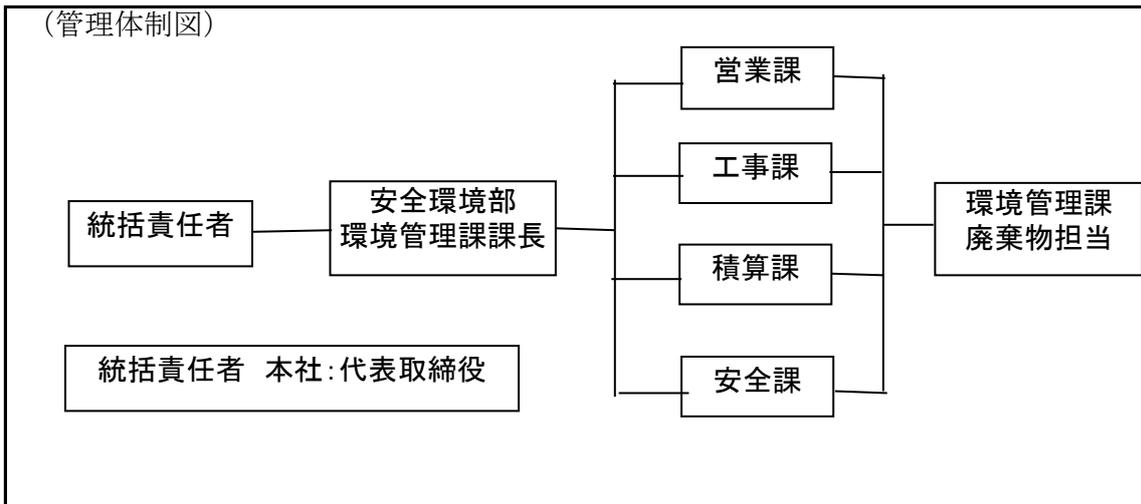


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和6年6月27日</p> <p>八尾市長 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住所 熊本県熊本市南区野田三丁目13番1号 氏名 ㈱前田産業 代表取締役 木村 洋一郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 096-358-6600</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社前田産業
事業場の所在地	大阪府八尾市
計画期間	令和6年4月1日～令和7月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	07. 職別工事業
②事業の規模	11,742,287,395 円
③従業員数	223 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[発生した産業廃棄物] --> B[収集運搬 (自社又は許可業者に委託)] B --> C[中間処理 (自社又は許可業者に委託)] C --> D[再生材] C --> E[有価物] B --> F[最終処分 (許可業者に委託)] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき類
	排出量	1374.77 t	1.48 t
	(これまでに実施した取組) コンクリートがら、アスファルトがら、木くずについては再資源化施設への搬入の徹底。 工事現場での分別の徹底。 混合廃棄物の発生抑制。 循環型社会の構築を念頭におき、資源の有効活用に心がけ最終処分量(埋立処分)を限りなく”ゼロ”に近づけるゼロエミッション活動に取り組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき類
	排出量	1500 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) これまでと同様に取り組む。リサイクル可能な分別品目を増やし、混合廃棄物は選別が困難なため、混合廃棄物を出さない工夫が大切になる。 循環型社会の構築を念頭におき、資源の有効活用に心がけ最終処分量(埋立処分)を限りなく”ゼロ”に近づけるゼロエミッション活動に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスファルトがら、木くずについては再資源化施設への搬入の徹底。 工事現場での分別の徹底。混合廃棄物の発生抑制。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持に加え、混合廃棄物の分別・選別施設への搬入を徹底する。 解体工事の際、現場での分別を徹底し再資源化率のアップに努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	蛍光灯
15.55 t	0.18 t	3.5 t	0.01 t

②計画

木くず	廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	蛍光灯
20 t	5 t	5 t	1 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

管理型建設系混合廃棄物			
8.19 t	t	t	t

②計画

管理型建設系混合廃棄物			
10 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和5年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき類
	全処理委託量	1374.77 t	1.48 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	944.05 t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	1374.77 t	1.48 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	t
	(これまでに実施した取組)		
委託先の事業の範囲の確認の徹底。 最終処分までの確認の徹底。 業者選定にはリサイクル率の高い中間処理業者を優先する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	蛍光灯
15.55 t	0.18 t	3.5 t	0.01 t
15.55 t	— t	3.5 t	0.01 t
15.55 t	0.18 t	— t	0.01 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

管理型建設系混合廃棄物			
8.19 t	t	t	t
8.19 t	t	t	t
8.19 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	がれき類
	全処理委託量	1500 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1000 t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	1500 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
委託先の事業の範囲の確認の徹底。 最終処分までの確認の徹底。 業者選定にはリサイクル率の高い中間処理業者を優先する。			
※事務処理欄			

②計画

木くず	廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	蛍光灯
20 t	5 t	5 t	1 t
15 t	5 t	5 t	1 t
20 t	2 t	— t	1 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

管理型建設系混合廃棄物			
10 t	t	t	t
10 t	t	t	t
10 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

母 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
熊本県熊本市南区野田三丁目13番1号	株式会社前田産業	環境管理課		096-358-6600	096-358-0754	

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況											(⑩ = ① - ② - ③ - ④ + ⑥ - ⑧ - ⑨) = ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭					② + ⑧	③ + ⑨
	① 排出量 (t)	② 自ら直接 再生利用した量 (t)	③ 自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④ 自ら中間処理した 量(t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥ 自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦ 自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧ 自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨ 自ら中間処理した 自埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩ 等直排及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪ ⑩のうち、処理業者 への再生利用委託量 (t)	⑫ ⑩のうち、認定熱回収 施設設置者である処理業者へ の熱回収委託量 (t)	⑬ ⑩のうち、委託 して破砕等の中間 処理した量(⑬-⑭ を除く)	⑭ ⑩のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑮ ⑩のうち、優良 認定処理業者への 処理委託量	⑯ ②の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)		
1 1501 コンクリート破片	1,374.77						0.00		1,374.77	1,374.77					944.05	0.00	0.00	
2 1500 がれき類	1.48						0.00		1.48	1.48						0.00	0.00	
3 800 木くず	15.55						0.00		15.55	15.55					15.55	0.00	0.00	
4 1322 廃石膏ボード	0.18						0.00		0.18	0.18						0.00	0.00	
5 2420 石綿含有ガラスく ず	3.50						0.00		3.50	0.00					3.50	0.00	0.00	
6 3111 蛍光灯	0.01						0.00		0.01	0.01					0.01	0.00	0.00	
7 2020 管理型建設系 混合廃棄物	8.19						0.00		8.19	8.19					8.19	0.00	0.00	
8							0.00		0.00							0.00	0.00	
9							0.00		0.00							0.00	0.00	
10							0.00		0.00							0.00	0.00	
11							0.00		0.00							0.00	0.00	
12							0.00		0.00							0.00	0.00	
13							0.00		0.00							0.00	0.00	
14							0.00		0.00							0.00	0.00	
15							0.00		0.00							0.00	0.00	
16							0.00		0.00							0.00	0.00	
17							0.00		0.00							0.00	0.00	
18							0.00		0.00							0.00	0.00	
19							0.00		0.00							0.00	0.00	
20							0.00		0.00							0.00	0.00	
合計	1,403.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,403.88	1,400.18	0.00	0.00	0.00	971.30	0.00	0.00	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和6年度】目標

押 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	
コード	名 称	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ⁽¹⁾	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した自埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 ⁽¹⁾	委託先による区分				⑭⑫+⑬+⑭+⑮+⑯	⑰+⑱	⑲+⑳	
		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑫再生利用者への処理委託量 ⁽¹⁾	⑬熱回収認定業者への処理委託量 ⁽¹⁾	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量 ⁽¹⁾	⑮その間の中間処理委託量 ⁽¹⁾	⑯埋立処分委託量 ⁽¹⁾	⑰優良認定処理業者への処理委託量 ⁽¹⁾	⑱自ら再生利用を行った量 ⁽¹⁾	⑲埋立処分又は投入処分を行った量 ⁽¹⁾
1	1501 コンクリート破片	1,500						0		1,500	1,500						1,000	0	0
2	1500 がれき類	10						0		10	10						5	0	0
3	800 木くず	20						0		20	20						15	0	0
4	1322 廃石膏ボード	5						0		5	5						2	0	0
5	2420 石綿含有ガラスくず	5						0		5	0						5	0	0
6	3111 蛍光灯	1						0		1	1						1	0	0
7	2020 管理型建設系混合廃棄物	10						0		10	10						10	0	0
8								0		0	0							0	0
9								0		0	0							0	0
10								0		0	0							0	0
11								0		0	0							0	0
12								0		0	0							0	0
13								0		0	0							0	0
14								0		0	0							0	0
15								0		0	0							0	0
16								0		0	0							0	0
17								0		0	0							0	0
18								0		0	0							0	0
19								0		0	0							0	0
20								0		0	0							0	0
合計		1,551	0	0	0	0	0	0	0	1,551	1,546	0	0	0	0	0	1,038	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。